



県議会ふくしま

6月定例会（6／23～7／8開催）の概要

第106号
[企画・編集]
福島県議会
広報委員会

〈広告〉



◆令和8年9月定例会
9月15日(火)開会予定
◆詳しい情報は
▼
福島県議会 検索

36件の議案を可決 令和8年度補正予算16億9,700万円など

補正予算の主な内容

- 1 国の電気・ガス料金支援と連動した取組 6億2,849万円
(1) LPガス使用世帯等への支援
(2) 特別高圧電力を使用する中小企業等への支援
- 2 医療・介護サービス提供体制の充実 5億1,791万円
- 3 ひょう害への対応 5,310万円
- 4 チャーター便就航を契機とした韓国向け観光プロモーションの強化 2,397万円

6月定例会では、国の電気・ガス料金支援と連動した取組を始め、医療・介護サービス提供体制の充実や、ひょう害への対応、インバウンド誘客の更なる推進など、総額16億9,700万円が計上された一般会計補正予算案を可決した。そのほか、知事提出議案27件、議員提出議案8件、合わせて36件の議案を可決した。

可決した国への意見書は、県議会ホームページをご覧ください



県議会の動き

常任委員会が 県内調査を実施



布沢集落にて質問をする議員

総務、企画環境、商労文教委員会は5月19日から21日にかけて、福祉公安、農林水産、土木委員会は5月25日から27日にかけて、それぞれ県外に県内調査を実施した。各委員会は、所管事項に関連する機関等を視察した。

二本松市の布沢集落にて中山間地域における集落活性化の取組について調査し、質疑応答を行った。



ふくしま医療機器開発支援センターの視察

商労文教委員会は、ふくしま医療機器開発支援センターにて、医療機器産業の振興と今後の見通しについて説明を受け、施設を視察した。

議員定数 等検討 委員会を 開催

議員定数等検討委員会が開催され、県議会議員の次の一般選挙に向けた議員の総定数について協議が行われた。



検討委員会の様子

広報委員会要綱改正を 議長申し入れ



申し入れする正副委員長

6月23日、広報委員会は、開かれた議会の一層の推進に向け、要綱改正を正副議長に申し入れた。県民の議会への関心向上を図るため、柔軟な広報活動が可能になるのが狙い。

調査特別委員会を開催

5月14日、7月6日、復興・創生推進対策、県民の安全・安心対策及び人口減少・地域活力創造対策の3調査特別委員会が開かれた。各委員会において、所管事項に関する県の施策について説明を受け、質疑応答を行った。

定例会での主な質問

代表質問 6月25日



県民連合
佐久間 俊男 議員



今後の県政運営

質問 内堀知事は、本定例会で4期目への立候補を表明した。知事は現場主義の理念の下、県内を回り県民に寄り添い、復興・創生を牽引して来た。除染の進展や輸入規制の減少など、福島県の復興は着実に前進している。「内堀無くて福島県の復興無し」と言われるほど、県民に信頼されている知事は他にいない。

今年度からスタートした第3期復興・創生期間は、重要課題の解決

代表質問 6月26日



自由民主党
先崎 温容 議員



県産材の需要拡大

質問 本県の人工林の多くが利用期を迎える一方、木造住宅需要が減少傾向の中、新たな需要創出と循環利用可能な木材の有効活用が重要である。FSC国際認証制度の推進により、森林価値を世界的基準に引き上げていくことで、働く人に夢を与え、人材育成や木材需要への好循環が生まれる。昨今の石油製品の供給不足は、再生可能資源である木材の需要拡大の好機と言える。県内を中心に活動する「モクティ

に道筋をつける重要な期間であり、県民連合として内堀知事への支援を会派の総意で確認した。そこで、知事は、今後の県政運営にどのような思いで臨むのか尋ねる。

答弁 昨年訪れた青森県むつ市で、復興を期した会津藩の先人たちの誇りと挑戦の足跡に触れた。過酷な環境の中、先人たちはあきらめることなく、未来を信じて努力と挑戦を積み重ね、逆境を乗り越えてきた。

現在私たちは、震災・原発事故からの復興と急速な人口減少という、二大困難に直面している。この逆境を乗り越えるために不可欠なものは「ふくしまプライド」である。福島県の誇りを取り戻し、新たな「ふくしまプライド」を築き上げる挑戦の過程こそが、復興を実現し人口減少に歯止めをかける唯一の道であると確信している。

先人たちの不屈の精神と誇り、「ふくしまプライド」を胸に、県民の皆さんが「福島に生まれて、育って、暮らせてよかった」と実感できる、笑顔と誇りに満ちた未来を切り拓くため、全力で挑戦を続けていく。

その他の主な質問

- クマ被害防止対策
- 県内経済の活性化

倶楽部」による、木材由来のセルロースを用いたプラスチックや断熱材の開発は、ゼロエミッション社会の実現に大きく寄与する分野である。

ふくしま森林再生事業などの復興事業を継続しつつ、将来に向けた森林価値の大転換を見据えるべきと考え、県は県産材の需要拡大に、どのように取り組んでいくのか尋ねる。

答弁 県産材の需要拡大については、ふくしま県産材利用推進方針に基づき、県有施設の木造・木質化に取り組んでいるほか、民間施設における県産材の利用を進めるため、品質や性能が明確なJAS材の認証取得を支援するとともに、昨年8月に福島県建築士会と協定を締結し、県内の中高層建築物などへの利用促進に取り組んでいるところである。

また、新たな需要の創出に向け、耐火性能に優れた木材製品や環境に優しい木質系の素材を用いた製品の開発を支援するなど、引き続き、木材加工業者等と連携を図りながら県産材の需要拡大に取り組んでまいる。

その他の主な質問

- 自殺対策について
- ハイテクプラザの機能強化

一般質問 主な質問事項

6月30日



自由民主党
水野 透 議員

均衡ある県土の発展
テクノアカデミー郡山での人材育成
県職員採用試験の受験可能年齢の引き下げ

県民連合
半沢 雄助 議員

周産期医療体制の充実
学校現場の労働環境改善
就農者の支援

自由民主党
木村謙一郎 議員

移住・定住の促進
クマ対策について
県立博物館の資料収集・保管

県民連合
安田 成一 議員

若者や女性が働きやすい職場づくり
いわき市製錬所一部稼働停止に伴う雇用支援
ギャンブル依存症対策について

日本共産党
宮川えみ子 議員

現行憲法の3原則の堅持を国に求めること
イラン戦争で影響を受ける中小企業等への支援
PTAが設置した体育館エアコン稼働経費の支援

7月1日



自由民主党
山内 長 議員

ふくしまDCの取組と今後の観光戦略
福島イノベ構想と産業振興
国道289号八十里越開通を受けた観光振興

県民連合
古市 三久 議員

燃料デブリの処分方法及び廃炉完了時期
米価について
小名浜港臨港地区の県有地について

自由民主党
江花 圭司 議員

公共施設の解体
ジビエ利用に向けた施設整備
除雪作業のDX化

公明党
安部 泰男 議員

母子専用避難所の整備
クマ出没情報の発信
がん医療提供体制の充実

自由民主党
渡辺 康平 議員

人口減少社会について
風評加害について
有害鳥獣対策について